

PET検査を受けられる方へ

(よくお読み下さい。また、検査当日にお持ち下さい)

1. PET検査について

(1)PET検査とは

- ・ PETとはポジトロン・エミッション・トモグラフィー(Positron Emission Tomography)の略で日本語では「陽電子放射断層撮影」という意味です。
- ・ PET 検査では微量の放射線を出すFDG と呼ばれるブドウ糖に似た検査薬を注射します。FDG は体内でブドウ糖と同様に取り込まれますが、がんでは正常部位に比べてブドウ糖を多く取り込んで消費するため、FDG も多く集積します。そこから出る微量の放射線を体外から測定して画像化するのがPET 検査です。
- ・ 検査費用は3割負担の方で、約3万円ほどですが、多少の幅があります。

(2)PET 検査の優れている点

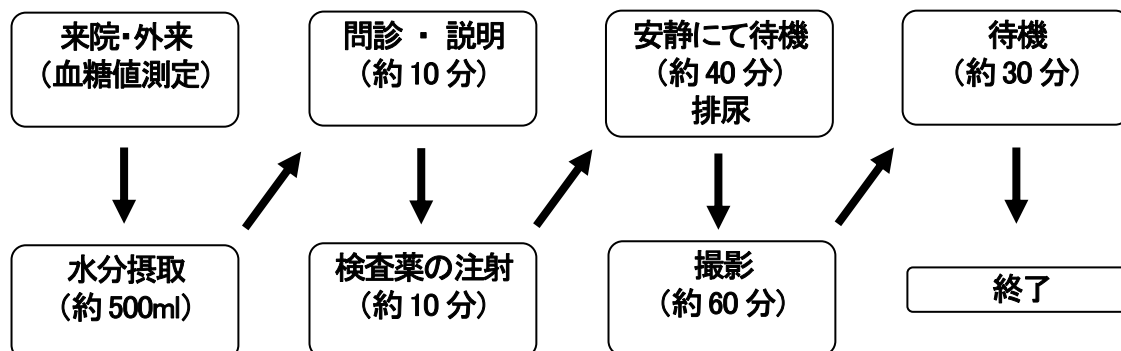
- ・ 1回の静脈注射で頸部から体幹部を一度に検査できます。
- ・ CT やMRI では指摘しにくい小さな病変を早期に発見することが可能です。
- ・ CT やMRI で良悪性の判断が困難な場合に、診断に役立つ情報を増やすことができます。

(3)PET 検査の限界

- ・ 心臓、腎臓、膀胱には生理的にFDGが多く集まるので、これらの臓器やその周囲の病変の診断が困難なことがあります。
- ・ FDGはがんなどの悪性腫瘍以外にも炎症や良性腫瘍、手術創、放射線治療部位などにも集積することがあります。そのため過去の病歴が不明では診断が困難になります。
- ・ 1cm 以下のがんや糖の取り込みの少ないがん(胃など)の診断は困難な場合があります。
- ・ PET-CT検査で診断が困難な場合は、他の検査を相談される事をお勧めします。

2. 実際の 検査の流れ

- ・ 撮影時間は60分が基本ですが、必要により追加撮影が加わります。
- ・ その他は、検査薬が全身に行き渡るまでの安静待機に時間が約40分かかります。安静時間中もPET 検査室(RI 検査室内)からは出られません。
- ・ 検査薬注射前に水またはお茶を500ml 程飲んで頂き、撮影前にお手洗いに行ってください。膀胱からの排泄を早くさせ、画像を良くするためと被ばくを減少させるためです。



* 約3時間、PET検査室から出られません。

3. 検査前にご注意いただくこと

(1) 検査前4時間は絶食です。糖分を含まないお茶や水は普通にお飲み下さい。

- ・ 糖分を含む食事やお菓子、スポーツ飲料などを摂取すると、ブドウ糖が先に病変に貯まってしまい、検査薬(FDG)が病変に集まらず診断が困難になります。
- ・ 検査前に血糖値を測定し、200mg/dl 以上では検査を中止することもあります。

(2) 糖尿病の人の食事やお薬について

- ・ 血糖値が高いと、検査が不正確になるので、よいコントロールが必要です。糖尿病の方も検査前5時間の絶食が必要です。そのため、糖尿病のお薬を内服中、インスリンを注射中の方は、その中止について主治医の先生と事前にご相談下さい。

(3) その他のお薬(高血圧や心臓病などの治療薬)は通常どおり水で服用して下さい。

(4) 検査前日や当日は運動しないようにして下さい。

- ・ 筋肉を使うと、そこに検査薬が集まってしまい、病変への集まりが悪くなります。
- ・ 検査当日はもちろん、前日もジムやジョギングなど激しい運動は控えて下さい。

(5) 閉所恐怖症気味の方は事前に装置をご覧いただくこともできます。

- ・ トネルの様な筒の中に60分ほど入って撮影します。閉所恐怖症が心配な方は事前に装置をご覧になることも出来ますので、十分納得されてから検査をお受け下さい。

放射線科(病院代表: Tel 0985-56-2311)にご連絡頂ければ事前体験を設定致します。

(6) 被ばくについて

- ・ 微量ですが放射性物質を使用しますので被ばくがあります。被ばくの程度は年間自然被ばく線量の約4倍ですが健康に影響はありません。検査薬はブドウ糖によく似た薬ですので、アレルギー等の副作用が起こる確率も非常に低いので安心して下さい。
- ・ 検査後は患者さんの体から、微量ですが放射線がしばらく出ます。終了後、約10時間は乳幼児や妊婦との密接な接触は避けて下さい。
- ・ 妊婦の方や妊娠の可能性のある方には検査を行いません。当院に連絡して下さい。
- ・ 授乳婦の方は24時間授乳を中止してください。

(7) キャンセルについて

- ・ 検査薬は高価で、数時間で効果が消失してしまいますので、当日キャンセルや遅刻は極力お避け下さい。連絡がなく来院されなかった場合は、キャンセル料を徴収させていただく場合がありますので、ご了承下さい。キャンセルの場合は検査日の前日の午後3時までに放射線科(病院代表: Tel 0985-56-2311)にご連絡下さい。
- ・ 検査薬は当日、輸送されてきます。その為大変申し訳ないことですが、機器の故障および交通事情や天候不順により検査薬が届かず検査不能になる場合や、検査薬の到着が遅延し検査開始時刻が遅くなる場合があります。その際は、迅速に連絡を致します。ご了承いただけますようお願い申し上げます。

■ PET 検査の長所と限界をよくご理解の上で検査をお受け下さい。

■ 疑問点や不明な点は、当日は検査薬(FDG)の注射前にスタッフにお聞き下さい。前日まではご遠慮なく宮崎東病院(Tel 0985-56-2311)に、電話でお問い合わせください。

PET検査問診票

(わかる範囲で記入して頂き、検査当日にお持ち下さい。不明な点はスタッフにお聞き下さい。)

御名前： 生年月日： 年 月 日(才) 男・女
検査日： 月 日(曜日)

■ 以下の質問は、正確に診断するために必要な事項ですので、該当する項目にご記入し、検査当日必ずお持ち下さい。□に✓や○でお答えになり、該当する()や空欄にご記入ください。

1. 身長 cm 体重 kg

2. これまでにFDG-PET検査を受けたことがありますか？ □ はい □ いいえ
・「はい」の場合、いつ頃ですか？ (年 月頃)

3. 今までにかかった病気・ケガがありますか？ □ はい □ いいえ
・「はい」の場合、ご記入ください。
(例：肺癌などの腫瘍、結核、盲腸、骨折、胃などのポリープなど)

☐	手術	病名：	手術部位：	年 月
☐	放射線治療	病名：	照射部位：	年 月
☐	化学療法	病名：		年 月
☐	他の治療	病名：		年 月

4. 体内に手術やケガで金属がありますか？
(例：脳動脈瘤クリップ、心臓ペースメーカーやその他の電子機器等)
□ ある(何が： どこに：) □ いいえ

5. 最近のけが(外傷、動物による咬み傷、かき傷、刺し傷など)、打撲、転倒などがありますか？
□ はい(いつ： どこに：) □ いいえ

6. 最近、注射(静脈、筋肉、ワクチン接種など)をされましたか？
□ はい(いつ： どこに：) □ いいえ

7. 最近、血管造影をされましたか？
□ はい(いつ： どこに：) □ いいえ

8. どこかに体の痛みはありますか？ □ はい(どこに：) □ いいえ

9. 糖尿病または血糖が高いと言われたことがありますか？ □ はい □ いいえ
・「はい」の場合、ご記入ください。
* 最近の空腹時血糖値 (mg/dL)
* 現在の治療法について該当するのはどれですか？
□ 未治療 □ 食事療法 □ 内服薬(薬名：) □ インスリン注射

患者様用

10. 人工肛門、腎瘻等がありますか？ ☐ はい ☐ いいえ
11. 1週間以内に胃や大腸のバリウム検査をしましたか？ ☐ はい ☐ いいえ
12. 高血圧または血圧が高いと言われたことがありますか？ ☐ はい ☐ いいえ
・「はい」の場合、ご記入ください。
* 何歳から (何歳)
* 最近の血圧 (最高血圧 mmHg / 最低血圧 mmHg)
* 降圧剤を飲んでいますか？ ☐ はい(薬名:) ☐ いいえ
13. CT、MRI検査などで狭い場所は苦手ですか？ ☐ はい ☐ いいえ
14. 約60分間の検査時間、安静に寝てことができますか？
☐ はい ☐ いいえ(理由:)

* 女性の方のみお答え下さい。

- ・ 現在、月経はありますか？ ☐ ある(閉経していない) ☐ 閉経した
「ある」の方のみ 月経周期(最終月経日)日、(月日～月日)
・ 現在、妊娠の可能性はありますか？ ☐ はい ☐ いいえ
・ 授乳中ですか？ ☐ はい ☐ いいえ

* 以下の質問には検査当日に検査室でご記入ください。

- ・ 最終のお食事はいつ頃ですか？ ☐ 昨日 ☐ 今日 午前・午後 時ごろ
・ 最終のお食事以降、糖分を含んだ飲物を飲まれましたか？ ☐ はい ☐ いいえ
・ 今日、お薬を内服・注射されていますか？ ☐ はい ☐ いいえ
・ 昨日から今日、運動をされましたか？ ☐ はい ☐ いいえ
・ 昨日から今日、下剤を使用されましたか？ ☐ はい ☐ いいえ
・ 昨日から今日、便秘や下痢をされていますか？ ☐ はい ☐ いいえ

「PET検査を受けられる方へ」をお読みになりご理解いただけましたか？

☐ 理解した ☐ 疑問がある

これから受けるPET検査で、気になることや症状など医師などのスタッフにお伝えしたいことがありましたら、ご記入ください。

()